

宅地防災に役立つ最新の国土交通大臣認定擁壁を一挙掲載

「国土交通大臣認定擁壁図集」発刊のご案内

24年ぶりに「大臣認定擁壁図集」を刊行します。

当協会会員社23社が認定を受けた国土大臣認定擁壁を網羅・掲載しています。

各擁壁について次の内容を記載

1. 擁壁概要
2. 認定条件
3. 標準築造定規図
4. 擁壁の高さと地盤の許容応力図
5. 形状寸法図
6. 製造認証工場一覧表

発刊予定日 平成30年9月1日

サイズ A4版、全313ページ

価格（消費税込み） 4,320円

発行（公社）全国宅地擁壁技術協会



FAX 03-5294-1483

メール akiyama@takukyou.or.jp

ご注文票

地方公共団体名 会社名等	
ご住所	〒
部署・お名前	
電話番号	
ご購入冊数	冊

※ 書籍を発刊後に印刷会社より直送いたします。

なお、別途、送料が必要です。（請求書は別送いたします）

第3章 大臣認定擁壁図集

1. 図集の使い方

本書では、各国土交通大臣認定擁壁について、次の項目を共通様式にて記載しています。

1. 擁壁概要
2. 認定条件
3. 標準築造定規図
4. 擁壁の高さと地盤の許容応力度
5. 形状寸法図
6. 製造認証工場一覧表

ここでは、これらの項目の使い方について説明しています。なお、留意点と用語の説明は、第1章3、4を参照してください。

ハイ・タッチウォール

1. 擁壁概要

名称	ハイ・タッチウォール
認定区分	外側0.2対応
認定年月	平成27年6月15日
認定番号	建設省東経民発第94号
備考	

想定取得先 一般社団法人ハイタッチウォールセンター
 住所 〒100-0044 東京都千代田区千代田1-17-05159
 TEL 03-5297-3071
 URL <http://www.hightouch.jp/>

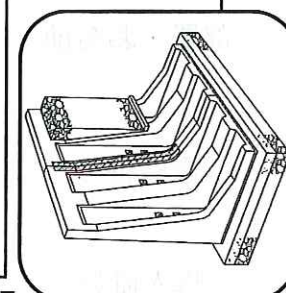
2. 認定条件

盛荷重	0=10 (kN/m ²)
設計水平強度	kh=0.2
摩擦係数	$\mu = \tan \phi (\leq 0.6)$
フェンス荷重	P=1.0 (kN/m)
土質	土質、岩層、砂利又は砂
コンクリートの設計基準強度	f _c =30 (N/mm ²)以上

(1) 土質試験により実況を確認する場合
 内側摩擦角(度) 25, 30, 35, 40, 45
 単位体積重量(kN/m³) 18
 摩擦係数 tanφ(≤0.6) φ:外側摩擦角

(2) 土質試験により実況を確認しない場合
 別表第2
 別表第2
 別表第3
 別表第4

3. 標準築造定規図



(注) 製造に関しては「標準仕様書」によること。

国土交通大臣認定擁壁の名称です。

地盤に対する認定区分です。kh=0.2、中地盤、大地盤の区分があります。国土交通省認定タイプ内蔵です。

問合せ先および掲載情報です。擁壁の詳細情報やCADデータ等の取得が出来ます。

現地に於いて土のせん断強度を測り、内側摩擦角φを確認してください。

土質試験をしない場合の本擁壁で使うが認められていない土質区分です。

載荷重とは、擁壁背面の埋め立て部の利権荷重です。

摩擦係数は、擁壁と基礎地盤の摩擦係数です。

フェンス荷重とは、フェンス取付けの場合の付荷重です。

基礎の土質条件より、根入れ深さが決定されます。

擁壁背面の埋め立て側からの擁壁壁式図です。コーナ一部分がある場合にはコーナ一部分の構造図も掲載しています。

17

4. 擁壁の高さと地盤の許容応力度

(1) 標準部

背面部の長さ(mm)	擁壁の高さ(mm)									
	2.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00		
25	170	180	190	200	210	220	240	260		
30	150	160	170	180	190	200	220	230		
35	140	150	160	170	180	190	200	210		
40	130	140	140	160	160	170	180	190		
45	120	130	130	140	150	160	170	180		
*	150	160	170	190	200	200	220	230		

(単位: kN/m²)

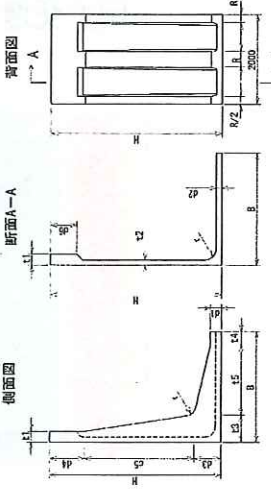
* 土質試験により実況を確認しない場合(背面部については別表第2による砂利又は砂)、基礎地盤については別表第3による「岩、岩層、砂利又は砂」に該当する場合のみ)

本擁壁の標準物高さを示します。

土質試験にて内側摩擦角を確認した場合の、本擁壁を設置する上で必要となる地盤の許容応力度です。

土質試験にて内側摩擦角を確認していない場合の、本擁壁を設置する上で必要となる地盤の許容応力度です。

(1) 標準部



コーナ一部分がある場合は、コーナ一部分の形状寸法図も掲載しています。

上記中の形状寸法番号を参照してください。
寸法の単位は、(mm)で表しています。

寸法表

H	B	R	r	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	質量	
															(kg)	(kg)
3250	2100	340	250	120	520	250	1330	250	120	520	800	1830	600	250	5550	
3500	2250	340	250	120	560	300	1390	250	120	560	800	2140	600	250	5170	
3750	2400	350	250	120	590	350	1460	250	125	590	800	2360	600	250	5770	
4000	2550	350	250	120	620	400	1530	250	125	620	800	2570	600	250	6320	
4250	2650	350	250	120	660	450	1600	250	125	660	800	2790	600	250	6880	
4500	2800	350	250	130	670	500	1780	300	130	670	1000	2830	600	300	7380	
4750	2900	350	250	130	705	550	1845	300	130	705	1000	3045	600	300	8150	
5000	3000	350	250	130	735	600	1915	300	130	735	1000	3265	600	300	8910	

質量は、擁壁高さごとの1個の擁壁質量(kg)を記載しています。

6. 製造認証工場一覧表 (ハイ・タッチウォール)

会社名	認定工場名	平成29年10月現在(㎡)
共和コンクリート工業㈱	札幌支店工場	工場所在地 北見道勇社製安平町
南興㈱	新庄工場	工場所在地 北見道勇社製安平町
岩手県東州市	岩手県東州市	工場所在地 岩手県東州市

18